

関西 EAC 第448回例会(合同例会)のご案内

■ テーマ 東京/中国/関西EAC合同例会

■ 日時 2013年9月13日(金)13:15~17:15

■ 場所

東京都立産業技術研究センター(東京都)

[東京都立産業技術研究センター](#)

■ 交通手段

新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

「テレコムセンター」駅まで 新橋駅から18分、豊洲駅から12分

りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分(駅から無料送迎バスあり)

「東京テレポート」駅まで 新宿駅から23分、池袋駅から28分

[本部](#)

■ 備考

担当幹事:東京EAC 工学研究社 吉川雅之氏

スケジュール

| | |
|-------------|--|
| 13:15~13:25 | 各EAC会長挨拶 |
| 13:25~14:05 | 発表1 (東京EAC) 株式会社NTTデータエンジニアリングシステム SI統括部企画部長 林田 雅裕 氏 「3Dプリンターの製造業における最近事情」 3Dプリンターは、『MAKERS』の影響もあり、現在は世界的なブームとなっています。 マスコミにも多く取り上げられ、誰もがメーカーになれる時代の到来と騒がれているものの、その実態はどうか。 そして国内の製造業は、この3Dプリンターとどう向き合っているのか、事例をもとに3Dプリンターの最近事情を報告します。 |
| 14:05~14:50 | 発表2 (関西EAC) 「観察とプロトタイプングによるヒューマンセンタード・イノベーションの実践」 富士ゼロックス株式会社 商品開発本部 ヒューマンインターフェースデザイン開発部 蓮池 公威氏 人々の生活や仕事が多様化する中で、ユーザーの価値観やコンテキストを理解し、その活動の場に価値のある体験を生み出すことが、ますます重要になってきています。ユーザー自身も意識していない潜在的なメッセージを発見し、イノベーションにつなげるには、エスノグラフィックなアプローチによる観察やインタビュー、また、ユーザー体験のプロトタイプングが有効です。私たちが取り組んできたアプローチ、事例を紹介し、議論をしたいと思います。 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科造形工学専攻を修了。富士ゼロックスでは、製品のユーザー・インターフェイス・デザイン、デザイン戦略、インタラクションデザイン、ワークプレイス研究などに従事。現在は、将来デザイン活動およびHCD(ヒューマンセンタードデザイン)の実践と研究を行う。NPO法人 人間中心設計推進機構評議員、武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科非常勤講師。 |
| 14:50~15:35 | 発表3 (中国EAC) 三菱農機株式会社 事業本部 開発管理グループ 河本 雅史 氏 「XVLを使った組立工程設計と作業指示<工程D/B構築の紹介>」 |
| 15:35~15:40 | 休憩 |
| 15:40~17:00 | 施設見学 主催者ご挨拶 (産技研 広報室 上席研究員 榎本 氏) その後、グループに分かれて見学 |
| 17:10~17:15 | 事務局からの諸連絡 |
| 17:20~19:20 | 3EAC合同懇親会 5階食堂 フリードリンク制 会費は当日集金。 |